

12月のゆるりん歩き

平成19年12月16日(日)
13:30~15:00



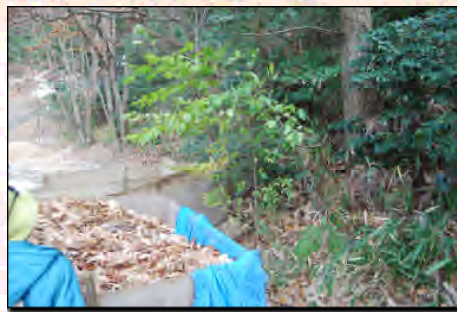
今日は風邪のためお休みされた方が多く、2名だけの観察会となりました。ゆっくりと展望台の方へ冬芽を探しに歩く事にしました。



紫陽花の葉跡を観察します。王冠のような形をした葉跡(葉の維管束)を虫眼鏡で観察します。いろいろな形の葉跡があるそうで、冬の観察はこれを楽しめます。



展望台に向かいながら冬鳥がついている木の実を観察します。



ソヨゴ(モチノキ科)の実が美味しそうになっていました。

クサギ(クマツヅラ科)もありました。

ウラジロノキ(バラ科)の実は、たくさん落ちていたり、木についていたりしましたが、鳥たちが食べている様子はありませんでした。

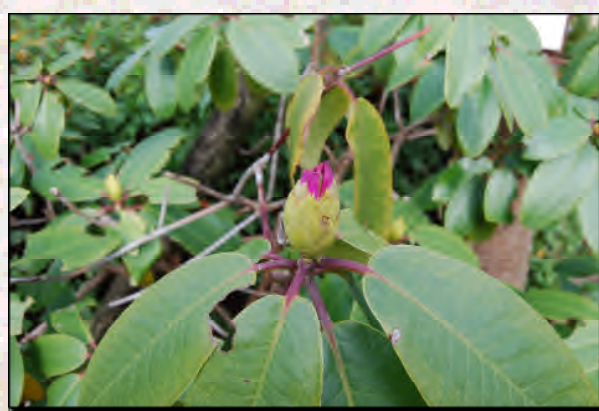


トベラ(トベラ科)は実が美味しそうでした。花の匂いはよく、海岸に多く見られるそうです。



セイヨウシャクナゲが咲いていました。春に咲く花ですが、暖かい気温のため咲いてしまったようです。蕾も何箇所も見られ、これから寒くなるので、咲くことは無いという事です。

通称でローデンドロンと言うそうですが、ローデンドロンとはツツジ属の総称で使われるので、本来とは違う意味で使われているそうです。



メジロが歩道近くの木々の間を飛びまわって木の実をついばんでいました。参加者や散策にきている人が近寄っても怖がる様子も無く、近くで観察する事ができました。

今日は一日天気も良く、展望台からは松山城が綺麗に見ることができました。

